

# 青堀保育園運営移管便り

第2号



富津市おもてなしキャラクター「ふつつん」

令和4年11月14日

## 三者協定書の締結

青堀保育園の運営移管に係る三者協定を社会福祉法人高砂福祉会、社会福祉法人純真福祉会及び富津市で6月30日に締結しました。主な内容は、令和5年4月1日に青堀保育園の運営を移管すること、職員の継続雇用、物品の取扱い、保護者への情報提供などです。

## 青堀保育園説明会を開催

10月29日(土)に青堀保育園説明会を純真福祉会、高砂福祉会、富津市の共催により青堀保育園で開催しました。午前の部と午後の部の2回開催し、在園児の保護者、入園を考えている保護者、地域の方々、合わせて71名の出席がありました。

市から、青堀保育園の運営移管に関し、県へ提出する手続関係書類を作成中であること、運営者が替わることによる園児の心身の負担を軽減し、保護者の不安を解消するため、来年1月から3月までの3か月間、新たに勤務する職員と合同で引継保育を行う予定であったが、園の大半の職員が引き続き勤務することになったことから、引継保育を行わないことなどを報告しました。

次に純真福祉会から、法人のこれまでの歩み、運営している園の現状、保育方針、ヨコミネ式など(詳細については、青堀保育園運営移管便り(第一号)を参照ください。)について説明した後、費用負担等の説明がありました。

内容は、次のとおりです。

・費用負担は、青堀保育園の現状と同程度に設定する予定である。

・制服は設けないので自由服。今、使用している制服は可。体操服は、できるだけ負担を少なくして導入したい。

・保護者会会費は、今後、行事を精査し、4月の保護者会で承認願いたい。

最後に純真福祉会から令和5年4月から放課後児童クラブ(学童保育)を青堀保育園園舎内に開設し、利用申込みは11月15日頃から受け付けると報告がありました。

説明後に行われた質疑の主な内容は、次のとおりです。

問 現在、使用している服は、着用できるのか。

答 現在のものでよい。制服はない。体操服は購入していただくが、今、使用している体操服でも可。

問 定員(90人)を増やす考えはあるのか。

答 今後の状況により、できれば増やしたい。

問 青堀保育園では、食物アレルギー対応食が提供されないので自宅から持参しているが、その対応はどうなるのか。

答 純真福祉会では、食物アレルギー対応食を提供しているが、青堀保育園と相談して、対応を決定したい。

問 青堀保育園では、以前、休日保育を行っていたが、実施する考えはあるのか。

答 まずは、4月からの通常保育をしっかり行っていききたい。延長保育は行うが、休日保育は職員の配置もあるので、検討するが、時間をいただきたい。

問 令和5年4月からの0・1歳児受入れはどうなるのか。

答 職員の確保に努めているので、まずは(市へ)入所申込を提出していただきたい。

問 園舎の耐震調査をしているのか。

答 建築基準法改正後に建築しているので、耐震基準は満たしている。

問 連絡帳システムのアプリはどうなるのか、変更はあるのか。

答 保育士の負担を軽減するため、富津市にICUの補助金(国庫補助制度の活用)をお願いし、システムの導入を考えている。これから、現行のシステムを含め検討していきたい。

問 学童保育の保育料はどうなるのか。

答 志布志市とは状況が異なるので、富津市内の他の放課後児童クラブの状況を見ながら決定したい。

問 学童保育の定員は何人になるのか。

答 30人位は受け入れが可能である。

☆青堀保育園の運営移管がスムーズに行われるよう、引き続き純真福祉会、高砂福祉会及び富津市が力を合わせて取り組んでいきます。

富津市健康福祉部子育て支援課

電話 0439(80)1312